



発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会 宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋4262 TEL 0983・23・0005 FAX 0983・23・5096 URL http://www.narumigaoka.jp/

令和4年度 高鍋高校OB祭実行委員長挨拶



令和4年度 高鍋高校OB祭実行委員会 実行委員長 小澤 正隆

令和4年度高鍋高校OB祭実行委員長を担当致します。平成11年卒業生を代表して、ご挨拶を申し上げます。令和4年は高鍋高校創立百周年という記念すべき節目の年となります。

創立百周年という高鍋高校の長い歴史と伝統は、OB・OGの先輩方をはじめ先生方学校関係者、そして地域の皆様が育ててこられた賜物であり、私たちの心の拠り所ともなっています。この記念すべき年に、歴史ある高鍋高校創立百周年記念OB祭に実行委員長として参加できることに大変喜びを感じると共に、先輩方が築いてきた歴史と伝統を引き継いでいく大任に、身の引き締まる思いを感じています。

私たちが高鍋高校を卒業して22年間、日本ではバブル経済崩壊から続く経済の低迷や数々の自然災害、児湯地区においては口蹄疫、そして現在、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大蔓延し、これまでに経験したことのない状況が日々続いております。いつの日からか私たちの当たり前前であった日常が消えました。会いたい人には会えない、行きたい場所へは行けない、我慢をすること、諦めることの繰り返しの毎日、変わってしまったことと変わらないもの、私たちにできるのは小さな一歩かもしれません。それでも、現在こそ前に進むため、できる限り一杯の力をこめて。私たちが高鍋高校同窓生の行動の時だと思えます。

高鍋高校創立百周年記念OB祭が少しも明らぬ兆しとなりません。う、皆で手をとり合って、ともに歩を進めて参ります。先日、創立百周年記念行事実行委員会及びOB祭引継ぎ式に出席した



令和3年度 高鍋高校OB祭実行委員長挨拶



令和3年度 高鍋高校OB祭実行委員会 実行委員長 藤原 一信

私たちが令和3年度OB祭実行委員会(平成10年卒)は「笑む」今こそ笑顔でをテーマに掲げ、前年度開催できなかった先輩方の想いを胸にコロナウイルスという世界的パンデミックの中、伝統ある高鍋高校OB祭を絶対に開催するという事を目標に掲げ準備をスタートしました。

響で会議等も実行委員が直接顔を合わせることも出来ず、大切な決める事なども、リモートで決定せざるを得ない状況で毎年一月二日に行われる同窓会も開催できない状況下で本当に今年のOB祭は開催できるのか?開催しても良いのか?などの不安な声もどんどん大きくなりOB祭を今年も中止にするという事態も想定しないといけない厳しい状況に追い込まれました。そんな苦しい状況の中でしたが今一度私たちのテーマである「笑む」今こそ笑顔でを意味を全員で考え、どんな状況下でもリスクを避け私達実行委員やOBの方たち、在校生の皆さんが笑顔になれる企画は何かを考え打ち上げ花火とゴルフコンペの二本の柱で私達のOB祭を開催しようとして決定しました。例年にはない企画を準備するといふのは色々と障害も多く大変でしたが大きな目標ができたことで私達実行委員は更に一つにまとまり笑顔で準備を進めていくことができました。しかし開催直前の八月に入り県独自の緊急事態宣言が発令されたことで準備を進めてきたゴルフコンペは無念の中止となりいよいよ打ち上げ花火のみの開催になりました。当日の天気予報は雨、最後まで私たちが追い込むかと雨で暗い気持ちのまま準備を進めましたがいざ本番の直前から雨も奇跡的に上がり最高の状態で花火を打ち上げることができました。周りを見ると沿道では沢山の人が笑顔で花火を眺めており、終了直後から電話やSNS等でも感謝のコメントを沢山いただきました。この企画はみんなで作った素晴らしい企画だったと確信することができました。奇跡的に雨の上がった打ち上げ花火の数十分間は高鍋高校にかかわる人達や住民の皆さんの想いが奇跡を起こしたのだと感じた感動的な時間でした。OB祭開催にあたり本当にたくさんの方々のご支援ご協力をいただきました事、改めて感謝申し上げます。来年は高鍋高校創立100周年を迎えます。今年のOB祭が少しでも後押しとなり来年のOB祭が通常通り開催され成功されます事、高鍋高校並びに鳴海ヶ丘会の今後益々の発展と卒業生の皆様のご活躍、ご健勝を祈念申し上げまして、令和3年度OB祭実行委員一同からのご挨拶といたします。

明倫奨学生 近況報告

平成29年度 奨学生 永澤くるみ

大学4年では、公立学校における教育実習が行われました。公立学校実習では、過去3回の附属学校における教育実習の演習として、母校である木城中学校で教育実習を行いました。

教育実習を通しての自らの反省としては以下の3点が挙げられます。1点目は自己管理です。自己管理ができず、授業に穴をあけたり、任せられた業務をこなすことができなかつたりしたことがありました。自己管理を行うことはこれから社会で生きていくうえでは最低限必要なことです。そのため、自己管理がきちんとできるような心がけたいです。2点目は、生徒の視念に立って考えることです。特に授業の際、生徒の思考の流れに沿った授業構成を考えることが疎かになってしまいました。そのため、社会科の暗記科目という印象が強い、内容ごとによつ切りの授業になってしまっていたと思います。生徒の思考の流れを考え、子どもが思考するような発問やそのタイミング等を考えながら授業を構成することの重要性に改めて気づかされました。3点目は、板書です。板書の練習不足によって文字が斜めになったり、文字の大きさが均一でなかったりしました。また2点目でも述べたように、生徒がノートをとることを意識した板書をする必要が感じられること、授業の回数を重ねることによって学ばせました。このような反省点を実習を通して実感できたことには大変貴重な経験であったと思っております。さらに、附属学校実習とは異なる知見を得ることができたと感じています。母校での教育実習は、これまでの集大成として自らの力を発揮することができました。

大学4年の下半期は、卒業論文に本腰を入れていく必要がありまして。自ら興味のある分野に関して調査したり、史料読解をしながら書き上げられるように努めたことです。そのために夏休みから少しずつ史料・文献収集や読解な

どに取り組みたいと思います。 平成30年度 奨学生 温水 聖太

今年度も昨年度と同様に私に奨学金を給付してくださり誠にありがとうございました。今年度、高鍋高校では対面授業が行われていたと聞きますが、私が通う九州大学では昨年度と同様にオンラインでの遠隔授業が行われていました。しかし、すべての講義で遠隔講義が行われていたわけではなく、一部の授業で対面講義が行われていました。私の場合は遠隔で行われる講義が多かったため、昨年度と同様に一日の大半を自宅で過ごしました。一人で孤独にパソコンの画面に向かってひたすらオンライン講義やそれに伴って出される宿題をひたすらこなして行きました。誰とも話さずパソコンの画面を凝視して1日が終了したことがしょっちゅうありました。一人がなんの障害も気にせず作業に没頭することはできず虚しさを感じていたことがよくありました。5月中旬で一旦福岡県内に緊急事態宣言が発令され、昨年度と同様にオンラインで講義を受けて自宅で過ごす日々が増えていきました。現在は緊急事態宣言が解除されていますが、依然として自宅中心の生活は変化ありません。

私が所属している社会学・地域福祉社会学研究室では、今年4月から1年にかけて社会調査実習が実施されます。今年度はオンラインで実施され、TeamsやZoomのようなオンライン通話ツールを用いてインタビューを行うことになりました。それだけではなく、今年度は九州大学を含めて福岡県内の4つの大学が参加し各大学の学生を対象に大規模なアンケートを実施する予定です。この件の詳細な内容につきましては、後の報告書で詳細に話しますのでしばらくお待ち下さい。

報告はこれ以上です。長くなりましたが、最後まで私の報告書を読んでくださり本当にありがとうございます。鳴海ヶ丘会の皆様も引き続きCOVID-19には十分警戒してお過ごしください。

令和元年度 奨学生 細元 亮 福岡大学スポーツ科学部スポーツ科学科に入学して、約2年と4



カ月が経ちました。勉学や部活動に専念する日々を過ごしています。先行きが不透明な中、やるべきことに取り組んでおりました。2年生になり始めて対面での授業に参加しました。友達と交流などはあまりできませんが、教授が目の前にいることで勉強のモチベーションも上がり、自分自身にとつて対面授業はプラスであると考えました。また、「保健体育科教育法」という講義ではグループでマイクロティーチングというものを実施しました。これは、実際に指導案を書いて5分で授業を行うというものです。自分は保健体育の教員になるということも視野に入れていたのでとても有意義な時間になりました。部活動では、新型コロナウイルスの影響で合宿や試合などが中止になりモチベーションのコントロールが難しい時期であります。そんな中でも、最近では学校の施設とは別にジムに通い始めました。これは、筋力アップと瞬発力アップが目的であります。このジムは24時間経営しているので、自分のタイミングで行くことができます。このおかげで、体重も入学当時から8キロも増えてフィジカル強化につながりました。来月からシーズンが始まるので、今年も九州で1位になり全国大学選手権に出場したいと思っています。そのためには、意味が増えるスピードが遅くなるトレーニングを継続して行いたいと思います。個人的な目標としては、来年開催されるであろうユニバーシアードロシア大会に日本代表として参加して金メダルを取りたいと思っています。

令和2年度 奨学生 宮越 大輔

大学生生活はコロナ禍の中始まり... 入学当初はコロナがある程度落ち着いており、入学式も無事に挙行されました。

部活動実績

Table with 2 columns of activity results. Left column lists events like '第66回 宮崎県吹奏楽コンクール' and '第19回 全九州サッカー選手権大会'. Right column lists events like '第43回 宮崎県高等学校総合文化祭' and '第37回 成田山全国読書大会'.

パソコン甲子園 全国大会が決まって

今回、私たちはパソコン甲子園プログラミング部門の本選に出場することになりました。私たちがプログラミングを始めて間もないですが、部活以外でも空き時間を見つけて練習しています。

高文祭 全国大会出場を受けて

私は、小さな頃から写真を撮ることが大好きで、体育祭や文化祭の場でカメラを構えて瞬間を捉える写真部に憧れを抱き、高校一年の二期から入部をしました。

第43回 宮崎県高等学校総合文化祭に参加して

今回参加させていただいた宮崎県高等学校総合文化祭写真の部で、Hey! pal... s!!! という題名で金賞を受賞できたことをとてもうれしく思います。

全国大会予選を終えて

ラグビー部監督 檜室 秀幸

第101回花園の県予選が宮崎市で行われました。決勝戦の相手は25年ぶりに決勝戦に進出した延岡高校。進学校ならではの、賢い戦術と粘り強いDFが持ち味です。

美山高等学校

試合は、立ち上がりから相手が勢いにのり、何度も高鍋陣地に攻め込まれるも、高鍋DF陣が体を張り、攻撃の芽を摘み続けました。そんな中、先制点をあげたのは高鍋。これまでチームを引っ張り、支えてくれた三年生と全国の舞台へ立ちたいと願う部員全員が思いがこもった一点だった。



九州大会を終えて

サッカー部コーチ 田中 まい

令和三年度全九州高等学校選抜サッカー大会が福岡県で無観客で行われた。初戦は今年度インターハイに出場した強豪、玖珠

事務局からの連絡

今年度の総会をいつ開催できるか検討して参りましたが、適当な時期を見い出せずやむなく中止とさせて頂きました。残念の極みです。さて、令和4年11月19日(土)に高鍋高校創立100周年記念式典が高鍋高校体育館で行われます。また、例年夏に行っており、OB祭ならびに総会につきましても、記念式典と同時に開催する予定になっておりますのでご理解のほど宜しくお願い致します。



なんきんはぜ

昭和から令和へ 清 KING 俊憲

私は高鍋高校昭和最後の卒業生である。昭和60年4月。教育現場が荒廃していた当時「瞬間湯沸かし器」の異名を持つ体育教師である父親のいる高校に入学するのは気の弱い私にとっては本当に地獄のような選択だった。中学では陸上部に所属していたが、高校で通用するレベルではなく、当時、父親が監督を務める80名を超える陸上部に入部する勇氣はなかった。実際、入学後すぐに短ラン、ソリ込みの優しそうな先輩方5人が教室にやってきてトイレに連れていかれたことは未だに印象に残っている。わたしは、怖さのあまり右ポケットの中でシャーペンを握りしめ、もしもの時の反撃に備えていた。しかし、先輩たちの行動は予想に反し、「おまえ清太一の子供やっちゃんや？ よろしくなっ！」というフレンドリーなものであった。「うおっ！この高校の先輩たちって優しい！」と思った瞬間から父親を困惑させる自由気ままな高校一年生としての生活が始まり、その目に余る行動が先生方の話題に上っていたことは、卒業してから知ることになる。それが原因とは思わないが、私が2年に進級するタイミングで父親は15年務めた母校を去ることとなった。そんな私は当時音楽が好きで、2年生までは先輩たちのバンドや自分のバンドで文化祭や町のイベントに出演していたが、高校3年では音楽活動が盛んで憧れの町であった福岡に進学するために受験モードに切り替えて、昭和63年2月に本校を卒業し、年号が変わった。大学卒業後は半年間、父親が務めていた西都商業高校で講師として一緒に働かせてもらった後、延岡高校に赴任し、そこで5年、宮崎北高校で9年、妻高校で13年働かせていただき今年度母校高鍋高校に赴任することになった。教師という職業はやりがいを感じることも多いが決して楽な仕事ではなく、苦しい時期もあり、心の病にかかり現在も治療中である。しかし前任校や本校の生徒たちはそんな私を理解し笑顔で受け入れてくれて何となく過すことができている。昭和たちには感謝の気持ちしかない。昭和を過ごした母校に令和になっても戻ってきた。私にできることは本当に小さなことだけかもしれないが、教師でいられるうちは何かを還元できたらと願う。